



— 第38回 —

手話で伝え合う楽しさを知って欲しい

十和田市ろうあ協会事務局

ひらの りゅういち

平野 隆一 さん

PROFILE

十和田市出身。趣味はドライブとパソコン操作。
十和田市ろうあ協会所属。県ろうあ協会の手話指導者研修などで研さんをつみ、講師としての一歩を踏み出した。
仕事と十和田市ろうあ協会の活動を両立し、頑張る2児の父。



▲このポーズは手話で「I LOVE YOU」を表します

6月3日から市民交流プラザで『平成27年度十和田市手話奉仕員養成講座（入門課程）』が行われています。

この講座の講師を務める平野さんは聴覚障害者であり、ろう講師として健聴講師と共に講座を進めています。

「講師として皆さんの前に立つのは初めてなので、緊張して震えました」と心の内を明かす平野さん。

聴覚障害は目に見えない障害と言われます。「聞こえない」、「話せない」ということでうまくコミュニケーションがとれず、誤解、偏見、差別が生じることがあります。

そのようなことのない社会づくりに貢献したい。

そのために、手話と聴覚障害者への理解を深めて欲しい、という思いで、この講座の講師を務めることにしました。

平野さんの目標は、手話で伝え合う楽しさを知ってもらい、ろうあ者と手話で日常会話ができるかたを育てることです。そのために、事前の準備や打ち合わせなど指導力を高める努力を怠りません。

手話はとても魅力のある言葉です。ろうあ者は、見える言葉である手話によって豊かなコミュニケーションをします。

手話の普及を通して、仲間たちと

交流を深めていきたい、そして自分を高めていきたい。
平野さんの挑戦はこれからも続きます。



▲反省会の様子。次回の講座に向けて意見交換です



▲真剣に手話を覚える受講生の皆さん